図書館だより

☆ストリーム☆

令和３年度　第２号

〈 春の全校一斉読書について 〉

Q なぜ、一斉読書をするの？

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は１９５９年（昭和３４年）にはじまりました。もともとは、５月５日の「こどもの日」を中心とした２週間（５月１日～１４日）でしたが、２０００年より、今の４月２３日（世界本の日・子ども読書の日）～５月１２日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。

公益社団法人 読書推進運動協議会 HP より

A なかなか読書の時間がとれない生徒・先生方に、本と向き合う時間をもってもらうために、「一斉読書」を学校行事として実施します！

Q いつ、どんな風にするの？

実施日時

令和３年４月２６日（月曜日）６限目

当日の流れ

1　校長先生のあいさつ
2　実施にあたっての注意等（図書委員長）
3　一斉読書・・・放送で始まりと終わりの合図をします。（図書委員）
4　振り返り・・・読書カードの記入

A こんな感じで実施します！皆さん、事前に読む本を用意しておいてください。

☆読む本のジャンルは自由です。教科書・漫画以外の好きな本を読んでください。
当日忘れてしまった人や本なんて持ってないよ！という人のために、各教室に30冊ずつ用意します。事前に図書館で借りるという方法もあるね。